

令和7年度 市政功労者表彰式典



文化・スポーツをはじめさまざまな功績 自治功労や社会功労など28人3団体が受賞

地方自治や文化、スポーツ振興、福祉の向上、市民の模範とする善行または奇特な行為などに尽くされた人などを表彰する守山市市政功労者表彰が執り行われ、自治功労や社会功労など計28人3団体が受賞しました。名前を呼ばれ、壇上に上がった受賞者は、参列した市民から大きな拍手を受け、緊張しながらも誇らしげな表情を浮かべていました。

11月3日 市民ホール 小ホール

杉江自治会が特別講演会



文化の日にちなみ同級生の自治会長が企画 市特別功労賞 小津学区出身の三品 昌美さん

脳科学の権威として市特別功労賞や瑞宝中綬章の栄典にも輝いた、三品 昌美さん(東京大学 名誉教授、立命館大学 上席研究員、三宅町出身)を招いた講演会。同級生だった杉江自治会長が企画しました。懐かしい顔ぶれを含む町民の見守る中「覚える脳と忘れる脳」と題し、研究内容の解説や身近な「記憶」に関して講話しました。

11月3日 小津神社 参集殿

エンディングノート講座



大切な人に、自分の思いをつなぐ 自分らしい最期を迎えるために

おうみ在宅クリニックの鎌田 泰之院長を講師に迎えて図書館で開催された講座には、さまざまな年代の28人が参加。第3版が発行された守山市版エンディングノート「つなぐノート」の利活用についての講座で、参加者は「ノートの記入にあたり、家族や大切な人と話し合う過程そのものが大切」などの話に、熱心に耳を傾けていました。

11月5日、7日 市立図書館、速野会館

令和7年度 もりやま文化財講座



市内の国重文十一面観音(福林寺)をテーマに 湖国の観音の魅力や保存修理の技法など学ぶ

約100年ぶりに修理保存した、福林寺の本尊・十一面観音立像をテーマに、佐々木 悦也さん(高月観音の里歴史民俗資料館 学芸員)と、保存修理を担当した浜田 史さん(公益財団法人美術院 技師)が、十一面観音の魅力や文化財を保存修理する意義や技法を解説。二人の対談も行われ、受講生は興味津々で耳を傾けていました。

11月5日 市役所

守山市の人口

令和7年10月31日現在
(前月比)

人口	86,106 (－ 7)
男	42,328 (－ 12)
女	43,778 (+ 5)
世帯数	35,920 (－ 6)

とがちよくちよく出てきました。運動の疲れがなかなか取れなかったり、腰が痛かったり、好きだったゲームも、何となくやる気が起きなくなったり。▼何でもできるような気がした10代にはもう戻れないと思うと、何とも物寂しくなります。ずっと若くあるというのは非常に難しいのだと思います。体力も気力も少しずつ目減りしてしまう。手に入れた新車をどんなに丁寧に手入れしても、いつかガタがきてしまう▼でも、どんどん増えていくものもあります。それは「思い出」です。愛車も人生も、何層にも積み重なった思い出がその人を作り上げていきます。ずっと後になって振り返った時に「随分と歳を取ってしまったけど、案外悪くなかったな」と思える。そんな人生にしたいです。できるかなあ。



今年で30歳。「体力、落ちてきているかも…」と感じる